

2017 年度中等教育・日本語教師ワークショップ報告

矢崎 満夫 (日本台湾交流協会台北事務所)

藤島夕紀代 (日本台湾交流協会台北事務所)

黒岩幸子 (日本台湾交流協会高雄事務所)

※講座実施順

1. 実施日時・場所：

2017 年 7 月 19 日(水) 10:00~17:00 【高雄】 実践大学高雄校区高雄市教学中心

2017 年 7 月 20 日(木) 10:00~17:00 【台南】 南台科技大学

2017 年 7 月 24 日(月) 10:00~17:00 【台北】 台北基督教女青年會

2017 年 7 月 25 日(火) 10:00~17:00 【台中】 台中市立惠文高級中學

2. テーマ：「楽しい授業づくりのために—中高生の日本語教育を考える—」

3. 開催の経緯：

台湾の多くの高校で日本語教育が行われていますが、特に第 2 外国語で日本語を教える先生方からは次のような話を聞く機会が多くありました。

「週 1 回 1 学期だけしか授業がない」「クラスの数が多い」「学習者のやる気が…」 「動機づけが大変」などです。

そこで私たち専門家が何かできないかと考え、「楽しい」をキーワードにした本ワークショップを開催することにしました。

4. 概要

目的：楽しい授業を目指し、授業に取り入れやすい実践的な内容をワークショップ形式で学び、新年度の授業に生かしてもらうこととする。教師の交流の場となることも期待。

想定クラス：中等教育、特に高校の第 2 外国語クラス

3 名の講師が、以下の通り、ワークショップを行いました。(全会場共通)

アイスブレイキング

矢崎 満夫講師 「いろいろあります！日本語授業おもしろネタ（文字学習編）」

藤島夕紀代講師 「楽しい練習を考えよう」

黒岩幸子講師 「文化紹介・体験からもう一歩進めよう」

振り返り・まとめ

「楽しい」を念頭に、文字の導入・練習方法、初級を中心とした練習のバリエーションとそれを取り入れたミニ練習案作成、特別なイベントでなくてもできる日本文化を取り入れた授業作り、等を紹介、参加者皆で体験しました。参加者が新学期、自分の授業で生かせる点を意識した内容になっています。

また、ワークショップが終わったらずぐに「さようなら」ではなく、今日一日どんなことを学んだかを振り返り、クラスで共有、学びが今後の授業実践につながるようにしました。

5. 参加者の反応

時折大きな笑い声が響く、和気藹々とした雰囲気、充実した時間になりました。終了後のアンケートより、参加者の声（一部）を紹介します。

- ・「正しい日本語→楽しい日本語」という発想は、まさにこれからの日本語教育に取り入れたいといけない考え方だと思います。また堅い板書から少し離れて、面白いゲームなどを授業にもっと入れることは新しい学期への試みだと思います。
- ・学生さんの意欲を引き出すためには、”楽しさ”は欠かせないと思います。言葉は文化であり生物（なまもの）であるから教師がまず生き生きと授業をすることが大切だと思います。矢崎先生、藤島先生、黒岩先生、それぞれお三方の個性あふれる楽しい授業へのヒントと気づきをありがとうございました。生きた授業を心がけたいと思いました。
- ・第二外国語の授業は1年のみです。限られた時間なので、教えられるのは基礎だけです。今日の研修会の内容はまさに授業に使えるものが殆どです。特にいつもいちばん悩んでる五十音の練習が授業に使ってみたいと思います。
- ・今日新しいゲームやおもしろい教え方をたくさん学びました。新たな気づきをたくさん得られました。9月からの新学期がすぐ始まるので、授業の進め方をもう一度検討したいと思います。学生にもっと日本語の授業を好きになってもらいたいと思います。挑戦したい気持ちでいっぱいです。三人の先生の心配りに感謝します。すごくいい勉強になりました。ありがとうございました。

6. まとめ

高雄、台南、台北、台中の4会場を合わせ、80名を超える台湾の日本語の先生方に出会えたことは非常に大きな意味がありました。ワークショップでの参加者の反応、終了後のアンケートからは、参加者の先生方も楽しい授業を肯定的に受け止めてくださったようです。

ワークショップでの学びが新学期の授業に生かされることを期待しています。これを第一歩として、今後も「楽しい」授業を台湾の先生方と考えていければと思います。

以上